

## ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度は、『経営戦略2027』で掲げた価値創造メカニズムである「磨く」、「変革する」、「創る」の取組を着実に推進し、確かな手応えを得ることができた一年となりました。「成長性」と「効率性」の同時実現をキーワードに、既存事業の収益性を高めるとともに、M&Aも戦略的に実行し、引き続き高い需要が見込まれるエネルギー分野での新規案件を創出する等、確かな実績を積み重ねてまいりました。

一方、外部環境に目を向けますと、国際秩序の再編を伴う構造的な変化や、AIの急速な進化・普及により、私たちはまさに歴史の転換点に立っていると認識しております。不確実性の高い時代においてこそ、事業環境・産業構造の変化を的確に捉え、迅速に行動し、競争力を高めていくことが一層重要であると考えています。当社の強みである「総合力」を最大限に発揮し、変化を成長の機会へと転換しながら、ステークホルダーの皆様の期待に応えてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬ当事業へのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

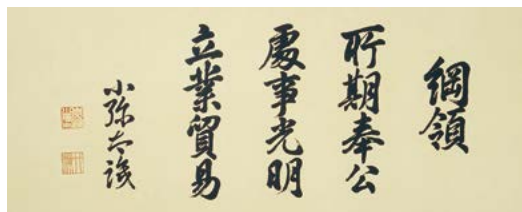
代表取締役 社長

中西 啓也



## 企業理念『三綱領』

『三綱領』は、三菱第四代社長岩崎小彌太の訓諭をもとに、1934年に旧三菱商事の行動指針として制定されました。この『三綱領』の理念は、当社がビジネスを展開するうえで、また地球環境や社会への責任を果たすうえでの拠り所となっています。



しよ き ほう こう  
所期奉公

事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。

しよ じ こう せい  
処事光明

公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

りつ ぎょう ほう えき  
立業貿易

全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

(2001年1月、三菱グループ各社で構成される三菱金曜会にて申し合わされた現代解釈)